

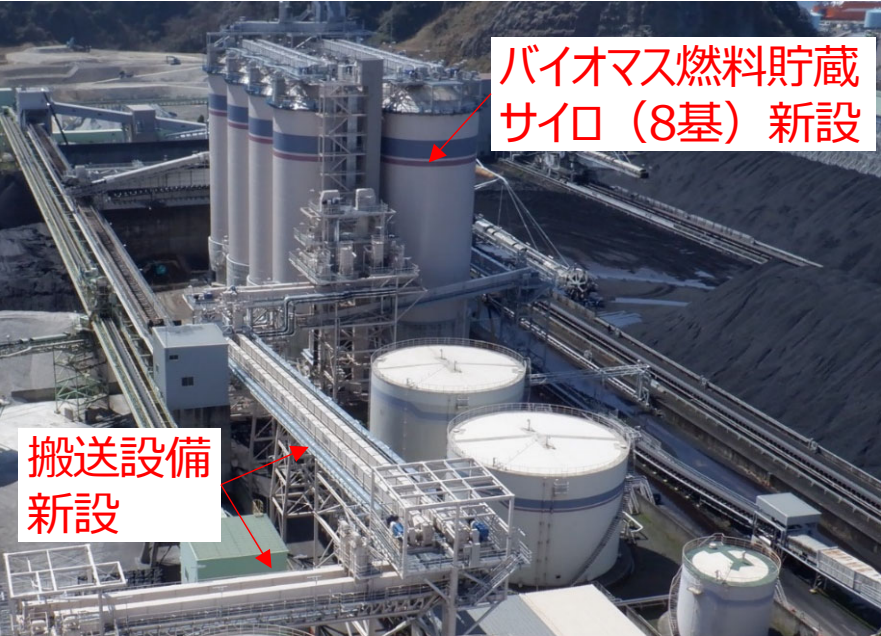
北陸電力の取組状況

2025年8月6日
北陸電力株式会社

火力発電のバイオマス混焼の拡大

- 既存石炭火力発電所におけるバイオマス混焼は、新規電源の開発や専焼プラント新設に比べ導入・移行のリードタイムが短く、**火力電源の低炭素化の取組みとして有効な手段の一つ。**
- 大型石炭火力である**敦賀火力 2号機および七尾大田火力 2号機**（各70万kW）において、バイオマス混焼比率を**15%（熱量比）に拡大した発電を開始。**
（敦賀火力：2024年11月30日～ 七尾大田火力：2025年4月21日～）

〔敦賀火力発電所 バイオマス設備〕



【設備仕様】

貯蔵サイロ	貯蔵量：42,800t（5,350t×8基） 寸法：内径17.5m×高さ49.3m
搬送設備	総延長：1,370m

【工事工程】

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
サイロ基礎設計	サイロ杭・基礎工事	サイロ据付工事	コンベヤ他杭・基礎工事	コンベヤ他据付工事	試運転 ▲ 運開 (11月30日)
		関連設備改造工事（ミル・バーナー等）			

バイオマス混焼によるCO2削減効果

- 敦賀火力2号機および七尾大田火力2号機の**バイオマス混焼率（15%）**による**年間CO2削減量は約100万t-CO2**。
- 今後、更なる混焼拡大に向けた設備や燃料調達策の検討・検証を実施。

【バイオマス発電電力量およびCO2削減量】

	(参考) 2023年度実績	15%混焼
バイオマス発電電力量	0.07億kWh/年	15億kWh/年
CO ₂ 削減量	約0.5万 t - CO ₂ /年※	約100万 t - CO ₂ /年※

※ バイオマス発電電力量相当の石炭消費量が削減されるとして試算（敦賀2号機,七尾大田2号機）

【バイオマス燃料】



木質チップ

これまで利用していた国内材由来の木質チップに加えて、北米や東南アジアで製造する木質ペレットを使用。



バイオマス燃料(ブラックペレット(左), ホワイトペレット(右))

こたえていく。かなえていく。

